

地域学校協働研修会地区別研修会（1／25）

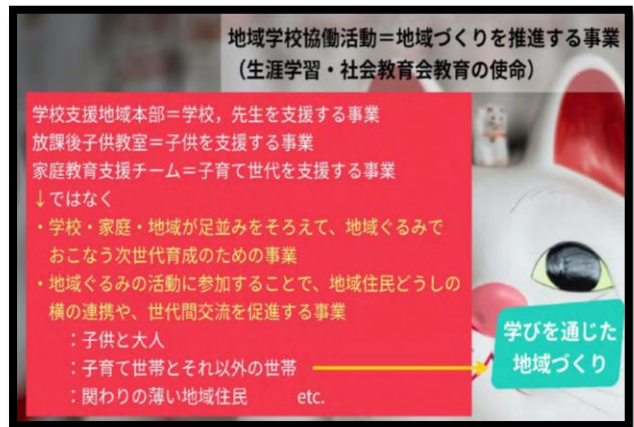
標記研修会をオンラインで実施しました。各市町村、地域学校協働活動担当者の参加により、各市町村の取組の概要、成果と課題について紹介した後、「地域学校協働活動（地域学校協働本部）の充実に向けて」というテーマで協議を行いました。その際、今回、講演をお願いした、国立教育政策研究所の志々田まなみ様にも協議に参加していただき、多くの事例を紹介していただき、アドバイスをいただきました。

【協議の主な内容】

- ・多くの市町村が地域コーディネーターの任命に苦慮している。一人で行うのではなく、様々なボランティアの得意分野を生かしてチームで支援していく。
- ・人材バンクの登録も行っているが、作っただけでは意味がない。登録してよかったと思えるよう活用していく。
- ・ボランティアの登録も、大きなくくりで登録してもらう。（例、竹とんぼづくり→工作全般）

最後に、「地域学校協働活動の推進に向けて」－地域の横のつながりづくり－と題して志々田様より講演をしていただきました。

右のスライドは、地域学校協働活動を理解し、実施する上で重要なことだと思しますので、掲載しました。



第2回地域家庭教育推進県南ブロック会議（2／8）

域内の学識経験者、PTA連絡協議会、学校関係者、企業、各種団体、行政関係者の代表が集まり、今年度の家庭教育事業の成果と課題について話し合いました。

初めに、熊倉小学校の渡邊校長先生より「親子の学び応援事業モデルPTA」の実践発表がありました。熊倉小学校の取り組みと、11月の講演会のお話がありました。

次に、今年度の成果と課題について教育事務所から説明し、各委員から感想や意見をいただきました。最後に、次年度の家庭教育の重点について協議しました。

【次年度に向けて】

- ・コロナ禍における研修会の在り方として、オンライン研修会やサテライト研修会の実施等、より多くの方々に参加していただけるように工夫する。
- ・ブロック会議だけでなく、委員同士で話し合う場を設けることにより、さらなるネットワークの強化と具体的な支援につながるアイデア等を出し合う。
- ・家庭教育支援プログラムの内容を検討し、より活用できるプログラム内容に改善していく。
- ・LINE公式アカウント「県南社教」により、新たなつながりの創出や事業の広報を積極的に発信していく。

※（LINE公式アカウント「県南社教」については、裏面参照）



委嘱状交付（新委員：十文字様）



実践発表（熊倉小渡邊校長先生）

【家庭教育応援企業】

平成27年度から始まったこの事業は、家庭教育を推進するための環境づくりに取り組む企業等を募集し、資料の提供、運営のアドバイス、講師の紹介等の支援を行い、地域の家庭教育の推進を働きかけることを目的としています。

今年度、「戸井田商会」（塙町）様より登録していただきました。ありがとうございました。また、認証書をお渡ししました。

“ひがししらかわ”輝くふる郷体験事業

過疎・中山間地域連携事業の一環として、東白川郡内全小学校で実施しています。3月11日(木)に棚倉小学校6年生を対象とした「水墨画教室」が行われました。色紙に墨絵で赤べこを描き、大切にしたい言葉(漢字)を添え、卒業制作としました。講師の「心は作品に現われる。震災やコロナに負けない大人になる。そういう気持ちが大切。」というメッセージに応えるように子どもたちは制作に取り組んでいました。



講師による説明



児童の作品

第2回泉崎村コミュニティ・スクール 連絡協議会 (2/16)

国としては、2022年までにコミュニィ・スクール(以下CS)を全ての公立学校へ導入することを目標として取り組んでいます。

泉崎村では、CS導入初年度を振り返る、標記協議会が開催され、各小・中学校の委員の方々に参加しました。

はじめに、鈴木一正教育長様より、泉崎村の教育の取組や課題について資料をもとに説明があり、その課題解決に向けてグループに分かれて熟議を行いました。

【グループ協議の内容】

- ・子どもたちを巡る健康課題(肥満解消、食生活、運動不足等)
- ・子どもたちの健全育成(インターネット活用とルール、家庭の役割等)
- ・地域で子どもたちを育む(世代間交流、放課後の地域生活等)
- ・学校を巡る課題(児童数と学校教育推進等)

熟議の結果は、泉崎村の教育施策や学校運営に反映されていきます。

※「熟議」とは、「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指した対話のことを示した造語です。



家庭教育支援者育成地区別研修会 (1/29)

標記研修会を「新白新ビル」にて開催しました。この研修会は、家庭教育支援者をリードする人材を育てることを目的として、県南地域の家庭教育支援者を中心に参加者を募り、例年、実施しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者を限定して行いました。

研修会では、まず「けやき心の発達診療所 所長 角田智哉先生」を講師に迎え、ゲーム、ネットの影響や依存症、望ましい付き合い方」と題して、ゲームやネットの影響等について医学的な視点からご講演いただきました。

次に、「NPO法人 子育て環境を考える虹の会 理事長 永野美代子様」から、「たんぽぽサロン」「おでかけたんぽぽ」「ファミリーサポート」等、虹の会の活動を紹介いただきました。

最後に、参加者それぞれの立場から、活動や取組、課題、悩み等について話し合い、情報交換を行いました。

【講演の感想】

「ゲームやスマホの利用)は、約束より目標」「発達障がいについては早い時期に子どもの特性を知り、無理させないで、良いところを伸ばしてやるのが大切」という言葉が心に残りました。

【活動紹介の感想】

何てきめ細やかな愛にあふれる活動だろうと、とても学ぶところが多かったです。子育て支援は、やはり相手の立場を理解し、せめずに応援することだと思います。

LINE公式アカウント「県南社教」開設

LINE公式アカウント 「県南社教」開設

LINE公式アカウント「県南社教」では、県南社教TIMESの情報ははじめ、社会教育事業、家庭教育や読書研修会の案内等も随時発信していきます。

<利用方法>

1 LINEの利用登録

- ☆「県南社教」を利用するには、LINEに利用登録をし、「友だち登録」する必要があります。
- ※LINEの利用登録は、スマートフォンなど各自で行ってください。

2 友だち登録

- ☆利用登録した方は、LINEにログインし、以下のいずれかの方法で「友だち登録」をしてください。

- ① LINEアプリのホーム
→「友だち追加」
→「QRコード」を選択
→右のQRコードを読み取
- ② LINEアプリのホーム→「友だち追加」
→「検索」を選択
→検索欄に「@901vdfqf」(半角英数)
と入力し、検索

たくさんの「友だち登録」をお待ちしております。



講演(角田智哉先生)



活動紹介(永野美代子様)